

令和7年5月20日 視察用資料

大代地区公民館 取り組み紹介

人口：多賀城市 61,819人
大代地区 4,302人
笠神地区 4,245人
東小児童 476人
東豊中学生 253人

※市・地区人口 令和7年4月30日現在
住民基本台帳人口集計数(行政区別)より
※児童・生徒数 令和7年5月1日現在
多賀城市公式ウェブサイトより

1

大代地区公民館 周辺地区の特徴

- コミュニティについて
 - ・少子高齢化が進んでいる。
 - ・現役層のコミュニティ活動への参加が少ない。
 - ・共働き、休日出勤があり現役世代の地域参画が難しい。
 - ・友人、職場、趣味、属性、年代、各テーマのコミュニティがある中で地域のコミュニティを選びにくい。
 - ・地域コミュニティの必要性が感じられない。実感できない。
- 地域の特性について
 - ・交通アクセスが悪い。(鉄道がない、バスの本数が少なく不便)
 - ・外国人技能実習生が多い。もっとコミュニケーションが必要。
 - ・貧困世帯、父子母子家庭、不登校の子が見られる。
 - ・大代西区、北区は家を建てる土地がないため人の入れ替わりがな
く高齢化している。中区は宅地造成で少子高齢化が緩やか。

2

こんなことが 必要なのでは？

- 多様な地域人材の活用
 - ・趣味、立場、テーマ、NPO、様々なコミュニティを地域へつな
げる。
 - ・コミュニティに限らず個人のカも地域へつなげる。
- 地域間の連携
 - ・地域(当面は大代の地区同士、大代と笠神)をつなげる。

3

公民館運営で 力を入れること

- 多様な住民が協力し、地域や社会の課題解決に取り組むため
の学び。
- いきがいをもち、心身ともに豊かに暮らすための学び。
- 地域を知り、地域の魅力を活かすための学び。
- 様々な社会の変化に対応していくための学び。

4

多様な地域資源

- ・防災キャンプ
- ・多文化共生
- ・ハンドメイド作家養成工房
- ・メタバース
- ・歴史講座
- ・子ども広場、学びの広場



5

多文化共生



- 今の状況
 - ・大代地区には、外国人技能実習生が多く住んでいる。
 - ・外国人技能実習生と住民の接点が少ない。
- 実施事業
 - ・日本の昔遊び、分かりやすい日本語を使ってコミュニケーション講座、体育室の開放。
- 未来の状況
 - ・住民はいろんな文化や考え方を取り入れる意識になる。
 - ・外国人が困ったら地域を頼れる。
 - ・外国人も地域をつくる仲間に。

6

ハンドメイド作家養成工房



- 今の状況
 - ・若い世代の公民館参加が少ない。
 - ・学習の成果を地域や社会への還元につながっていない。
- 実施事業
 - ・レジンアクセサリーの制作体験。
 - ・イベントでの自作アクセサリーの販売。
- 未来の状況
 - ・クリエイター、作家が地域に生まれる。
 - ・地域のイベントに出店者として住民が関わるようになる。

7

メタバース



- 今の状況
 - ・公民館や地域事業の参加者の固定化。
 - ・様々な制約によって住民が自発的に企画を行いにくい。
- 実施事業
 - ・メタバース（オンライン上の仮想空間）を体験。
 - ・メタバース内での講座実施。
- 未来の状況
 - ・自宅からでも気軽に公民館や地域事業に参加。
 - ・住民が気軽に企画を実施。

8

防災キャンプ



- 今の状況
 - ・今も地域団体、企業、学校のつながりはできている。
 - ・東日本大震災から年数を重ねるにつれ、防災意識は低くなるのでは。
- 実施事業
 - ・地域団体、企業、学校が協力した小学生を対象とした防災キャンプ。
- 未来の状況
 - ・防災はもちろん様々なことに対して地域団体、企業、学校が協力して取り組むようになる。
 - ・防災意識の高い住民がたくさんいる。

9

歴史講座



- 今の状況
 - ・自分の住む地域への関心が薄い人も多い。
- 実施事業
 - ・地域の歴史や伝承を学ぶ講座。
- 未来の状況
 - ・住民が地域の魅力に気付くことで、愛着が沸き、多賀城や大代に住み続けたい、地域で何かチャレンジしたいと思うようになる。

10

子ども広場 学びの広場



- 今の状況
 - ・児童館をはじめとした子どもの居場所が大代、笠神には少ない。
 - ・子どもたちや保護者と地域の接点が少ない。
- 実施事業
 - ・会議室や体育室を子どもの遊び場、学習の場として開放する子ども広場、学びの広場。
- 未来の状況
 - ・公民館が子どもたちの居場所として機能する。
 - ・子どもや保護者と地域の接点が増える。

11

多様な地域資源 をつなげる

- ・公民館まつり
- ・ケアブレンドカフェ
- ・学校との連携



12

公民館まつり



- 今の状況
 - ・学習の成果を発信する機会が少ない。
 - ・各種サークル同士、個人のつながりが薄い。
- 実施事業
 - ・公民館利用団体をはじめとしたサークル、個人が出演・出展する公民館まつり。
- 未来の状況
 - ・団体、個人同士の交流が生まれる。
 - ・自主的な学びの場が地域に増える。

13

ケアブレンド カフェ



- 今の状況
 - ・異なるコミュニティ同士のつながりが薄い。
- 実施事業
 - ・NPO法人ケアブレンドにご協力いただき、多世代、多職種が交流する場を開催。
- 未来の状況
 - ・地域の多様なコミュニティ同士がつながり、強みを活かして地域をつくる。

14

学校との連携



- 今の状況
 - ・学校へのアプローチが薄い。
- 実施事業
 - ・放課後子ども教室 わくわく広場への出前。
 - ・デジタル漫才紙芝居。
- 未来の状況
 - ・子どもたちが公民館事業に気軽に参加する環境がつけられる。
 - ・子どもが学校以外でも学習機会を得る環境ができる。

15

多様な地域資源 をつなげる



16